

# 承認No. 695 株式会社梅月堂

経営革新計画のテーマ

## 菓子の効率的な生産体制の確立とブランディング及び販路拡大

経営革新承認日：平成29年2月24日 承認期間：平成28年3月～平成33年2月

### “創業から現在までの経緯”

**創**業者、石原与助は、「質と材料は下げてはならない。」と、どんなときでも和菓子の品質と原材料にこだわっていた。これは、お客様に安心して美味しいお菓子を食べて頂けるようにとの思いからである。創業から90年以上を経た今でも、“湯之元せんべい”、“ぬれどら焼き”などの伝統の味を守り、製造販売に努めている。現代表は、平成25年に東京より帰省した石原良である。職人の採用・育成を重要視しており、納得のいく商品を提供する経営方針である。

また、原材料は職人自ら常に新鮮・安全の国内産、県内産のものを使用している。例えば、湯之元せんべいの山椒は、地域のお客様から分けて頂いたものを、県の特産品の自然薯は県内産を主体に使用している。

### “菓子の効率的な生産体制の確立とブランディング”

**競**合する菓子の種類や小売店の増加、商店街の衰退や少子高齢化によるお客様の自然減によって、平成に入ってから売上が逡減してきた。現代表は、東京での前職で得た経営や営業の視点を持ち込んだ経営改革を行った。具体的には、「菓子の効率的な生産体制の確立とブランディング、販路の拡大」である。効率的な生産体制の確立としては、製餡工程の機械化・包装工程の機械化を行った。これにより、餡の品質向上・安定と製造プロセスの簡略化され、経験の浅い若手職人への技術伝承や教育がスムーズになっている。また、製造量の不足によって断っていた商談にも対応可能となっている。

ブランディングに関しては、創業90年以上の伝統の味と衛生的にも品質的にも向上させた餡などの強みをSNS・ホームページ・商談会などの取組を通して認知度向上を図っている。



梅月堂ロゴマーク



店舗内観

会社概要 代表者：石原 良

業種：菓子小売業（製造小売）

創業年：大正10年（1996年）

資本金：9,000千円

所在地：日置市東市来町湯田2215番地

電話番号：099-274-2421

E-mail：ryo.rock.0120@gmail.com

## “県内外での販路拡大”

**県**内外における当社の販路拡大の取組を紹介する。自社店舗をカフェ感覚で立ち寄れるように、コーヒー・軽食の提供や、季節物の商品の取扱い、湯之元温泉との回遊の連携などを行っている。県内卸売では、百貨店や特産品売場の売上をキープできるように売場のメンテナンスに努めている。

県外では、東京などの大都市を中心に、価格ではなく価値や商品のストーリーで商品を選択し、購入されるお客様が増加している。このお客様層に向けて県外での販路拡大を行い、高級スーパーやセレクトショップが近年新たな流通チャネルとなり主に首都圏の三越や伊勢丹などの百貨店との取引がある。

読売新聞や婦人画報にラムドラが掲載され、知名度も向上している。

商談会等で県外からの注文が増加しても、製造設備が充実していないが故に受注できなかった課題を、今回の生産体制の構築で解決でき、今年の実績増加が見込まれる。



湯之元せんべい



好調のラムドラ

## “今後に向けて”

**経**営革新に取り組むことで、以前は全くなかった県外との取引が5割に達するようになり、自社店舗以外の部門の売上割合が向上した。これにより、売上計画の目標を達成できた。一部の工程に機械を導入したり、職場環境をより充実させるなどしたりするなどして、生産性の向上を図る予定である。『鹿児島で最も有名なお菓子屋さん』を目標に事業を行っていく。